

## 平成 27 年度 第3回 伊勢市地域自立支援協議会 会議録要旨

開催日時 平成27年9月24日(木)午後19時00分～  
開催場所 伊勢市役所東庁舎 4-2会議室  
出席委員 浦田宗昭委員、中井眞知子委員、笹山武志委員、山本とみ委員、岡部浩美委員、丸谷紀子委員、斉藤茂委員  
事務局 高齢・障がい福祉課長、係長、他1名  
こども課(こども家庭相談センター) 1名  
学校教育課 1名  
伊勢市障害者総合相談支援センター フクシア職員 2名  
傍聴者 3名

### 1. 各課題別検討チーム会議報告

#### ●いきいきチーム

##### 「職場実習制度の創設」

- ・現在すでにある実習制度と同じようなものを創設するのでは有効ではない為、労働分野や福祉分野の現状の実習制度の確認をまず行った。それら現状ある制度の隙間を縫った提案をしていく方向で検討中。狙いは、雇用へ向けてではなく、まず職業体験としての実習としている。
- ・今年度、創設実習制度の要綱案をまとめて、次年度に具体的提案をしていく予定。

##### 「就労版パーソナルカルテ」

個人情報にあたるカルテをどう管理するかについて、本人管理や本人同意のある範囲での管理活用になると思われることを確認。書式については、他市や、他機関が推奨するもの等を参考にしながら、試験的な実施をチーム委員が関わる範囲で行っていく等が確認された。

##### 「就労継続B型事業の利用にかかる就労アセスメントについての特例」

(個別ケース検討会議課題報告・提案書より)

- ・一般就労歴がない方等が B 型事業を利用するにあたっては、就労への可能性を探るための就労アセスメントを受け、B 型事業の利用が適切であると判断される必要があるが、この就労アセスメントを経過することが合わない方々がいるという課題についての報告を受けて検討。
- ・他市においては、合わない方々には原則外の対応を定めている所もあるため、参考にしながら必要な検討を行っていく予定。

#### ●せいかつチーム

##### 「地域移行」

- ・長期入院や施設入所から地域での生活に移行する場合、どのような支援機関があり、どのような役割分担や連携が必要であるか等を目で見て分かるように、モデルケースを通して見える化を行っていく事となる。
- ・また、そこから見えてくる不足する社会資源等について来年度以降検討していく予定。

##### 「敷居の低い相談先 + 居場所」

フリースペースについて、現在あるフリースペースの状況調査、ニーズの把握、他市町の状況等を調べながら、本来あるべきフリースペース等について検討していく予定。

## 「就労継続B型事業の利用にかかる就労アセスメントについての特例」

(個別ケース検討会議課題報告・提案書より)

- ・本来、就労継続B型事業の利用希望ではないが、現状利用可能なものがB型事業である為に、B型を利用しようとする方までもが、就労アセスメントを経過する必要があるという課題についての報告を受け検討。
- ・今後、通所先の選択肢の幅拡大に向けて検討をしていく予定。

## **●していますかチーム**

### 「周知(相談窓口)」

- ・相談への繋がりにくさの要因等を分析していくため、これまでのアンケートの活用を図っていきながら検討していく事となる。
- ・また、相談窓口周知のために、委託相談支援3センターすべてが掲載されたチラシ作成をしていく予定。

### 「啓発」

- ・一歩ずつ進めていけるように、楽しみや継続するという事を大事にしながら、まずはチーム委員間で啓発機会の共有等を図りながら、検討していく。
- ・各障害福祉サービス事業所等の詳細情報について、ホームページ等にて情報提供出来るように情報を掲載する共通書式等の検討行っていく予定。

### 「市民との意見交換会」

障がいをお持ちの当事者の方に話して頂き、その後市民との意見交換を行う方向で検討中。

## **●こどもチーム**

チーム委員の所属機関等で現在行っている途切れない為の取り組みについて確認した上で、今後必要な仕組み等を検討。

### 「パーソナルカルテ」

学校等でも周知等しているが、個別の教育支援計画と重なる部分もあるなど、浸透の為の検討継続が必要であり、こども総合支援室の必要性との一体的な検討を図っていく事となる。

### 「こども総合支援室」

こどもチームで、こども総合支援室の理解を深めるための先進地視察を行う予定(行き先や時期等は調整中)。

### 「市民との意見交換会」

パーソナルカルテの改善を図るために実際使った方の意見を聞かせて頂き、またこども総合支援室との一体的な検討を進めていくために、市民との意見交換会を10月開催予定。  
⇒今後、上記意見交換会や視察を踏まえ検討を行い、来年度早々の具体的な提案を目指していく。

## **【各委員の意見】**

### 「予算化」

来年度予算に反映すべきものはあるか？

〔事務局〕各チーム来年度に提案をしていく方向で、再来年度予算への反映を目指している状況。

### 「職場実習制度の創設(いきいきチーム)」

企業メリット：

- ・制度設計にあたっては、企業側のメリットも考えた上で、お互いが WIN—WIN の関係になれることが必要である。企業に受け入れを打診していくためにも、生きる制度にしているためにも、企業のメリットも必要である。障害のある方が工程を一部担う事で、企業は工程を省ける等をアピールできると良い。

〔事務局〕現状、福祉側や労働側の使える実習制度を一覧にした上で、不足する隙間制度の検討や、現在ある実習制度と連携できる制度等の検討を行っている状況。

- ・入り口は企業への手当だとしても、目的が手当とならない事が必要。働くことの意味を、障がいのある方々と一緒に働いて学ぶことが出来たと言ってもらえるような企業が増えることが理想であると、運営する側が理解していないといけない。

運営母体：

制度を運営していく上では、母体となる担い手が必要であるため検討が必要である。

商工会議所等の連携：

障害者雇用は増加傾向のようにも思うので、商工会議所等と連携を図ってほしい。

〔事務局〕いきいきチーム委員である商工労政課の方とも連携していきたい。

企業同士の情報交換機会：

企業同士の好事例の共有等の情報共有などは有効と思われるがそのような機会はあるか？

〔事務局〕現状は支援者向けの研修等が中心。就業・生活支援センター主催の企業含めた研修において情報共有があったり、労働局にホームページに優良企業が掲載されている等の現状。

大切な事

- ・当事者が役割意識や目的意識を持てることが、継続のためには必要。
- ・制度創設となると手当や回数等の議論になりやすいが、大事なのは、仲間同士で刺激し合えたり居場所があったりする事であり、それが安心感や自己肯定感を生み就労へつながっていく、という点を大切に議論を進めてほしい。

### 「地域移行(せいかつチーム)」

見える化：

役割分担や連携等を目で見て分かるようにする見える化とは？

〔事務局〕支援者も自分の所属機関の立場は理解出来ても、所属機関以外の事や別の立場は分からないという現状があるため、他機関や他事業の理解が出来たり、お互いの立場から連携の必要性が理解できたり、また現状ある資源の確認が、目で見て分かりやすいものを作成したいという内容。

今年度、支援者向けのものを作成し、来年度以降当事者へのエンパワメントにつなげていく取り組みも検討していきたいとの方向性。

計画相談についても、この取り組みの中で役割を具体化等していくのか？

〔事務局〕計画相談がどういう役割を担っていくのかという事もあるし、逆に計画相談の方に他事業の事を知って頂く等も考えられる。

### 「相談支援体制」

計画相談が付いている方の相談先について、委託相談 3 センター等もあり分かりにくく部分がある。

⇒計画相談により開催されるサービス担当者会議にて、各支援者の役割を確認して頂くことになるが、その際に重層的な相談支援を必要とする場合の委託相談支援センターの役割も確認頂くことになる。

### **「自立支援協議会 懇談会」**

各チーム検討中の市民との情報交換会は、自立支援協議会の周知としても必要である。頂いた意見を大切にしていかなければいけない。また、全体としての自立支援協議会懇談会をどのように開催していくかについて各委員と一緒に検討していきたい。

## **2. その他**

### **「子ども・若者育成支援地域協議会」**

こどもチームのこども総合支援室に関係するが、子ども・若者育成支援推進法は、他部署との連携が理想的に作られている法律であるので、法律にある子ども・若者育成支援地域協議会の設置について検討頂きたい。

全国で 22 都道府県、政令指定都市で 10 数市、市町で 40 数市町が設置している現状であり、三重県では再来年くらい設置に向けて動き始めているようであるが、県を超えて市が動ける協議会であったはずである。

### **「障害福祉計画の進捗状況」**

協議会による進捗状況の管理のためにも、中間報告等は予定されているか？

〔事務局〕正確な実績数値等は年度末終了後になるが、取組み自体の進捗状況は次回会議くらいに報告をさせて頂きたい。

### **「福祉施設管理の今後の方向性」**

〔事務局〕市が管理する福祉施設について、社会的なニーズ等踏まえ、一部施設を用途変更や民間譲渡等を行う。

- ・二見デイサービスセンター（老人デイサービスセンター）  
⇒障がい者の生活介護事業、短期入所事業（管理方法：建物を民間へ譲渡）
- ・障がい者就労支援施設（工房そみん、小俣さくら園、御菌しらぎく園）  
⇒就労継続支援 B 型事業 変更なし（管理方法：建物を民間へ譲渡）
- ・御菌デイサービスセンター（ハートプラザみその内）  
⇒障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス等）（管理方法：変更なし）

### **【各委員の意見】**

重度の方も利用可能な短期入所になるようにして頂きたい。

### **「課題別チームの会議録(まとめ)等の公開について」**

〔事務局〕本会が終了後、本会会議録の公開と合わせて、課題別チームの会議録（まとめ）も公開させて頂きたい。

### **【各委員の意見】**

承認。

## **●講演会の周知**

「現代のロバート・オウエン賞授賞式／執行泉氏受賞記念講演会」

- ・企業としての社会的責任に基づき、障がいのある方や、少年院出所の方等を雇用する経営

者を表彰する賞の授賞式。

- ・発達障害の当事者でありながら、自分の会社で助成金を受け取らずに積極的に雇用されている方のしている受賞者の講演会。
- ・日時場所：平成 27 年 10 月 10 日（皇学館大学）

**●次回会議日程**

平成 27 年 11 月 19 日（木） 19：00～

（※第 4 週木曜 ⇒今回のみ、第 3 週木曜に変更）